



## 自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

7/15(火)

テーマ: 『つづけることのすばらしさ』

出席23社23名

講師: (社)倫理研究所 首都圏方面長 井上茂勝 氏



Shigekatsu Inoue

### 真実を背中に、経営者が続ける

井上茂勝氏にも、「この人は本物だ。悔しいけど、敵わないな」と思う人がいる。中西法人局長だ。入所してから約42年間、朝は創設者の墓参をしてから1番に出社し、夜は一番最後に帰る。

言い続ける、やり続ける、思い続ける。経営者が良いことを続けることで、その影響を、社員さんの家庭の中にまで及ぼす。真実を背中で見せて、会社でも家庭でも、皆を引っ張っていく。

井上茂勝氏はこう質問する。「これだけは絶対に続けている、というのがありますか?」

1年ぶりの美浜で、今回もユーモアを交えて楽しく倫理を教えてくれた井上先生

特に子供は、両親の生活規範によって、いかようにも変わる。子供を直そうとせず、家庭でしっかりと受け皿を作り、ただ自分が続ければ良い。

### 良いことを続けるとは? 波長は人間力

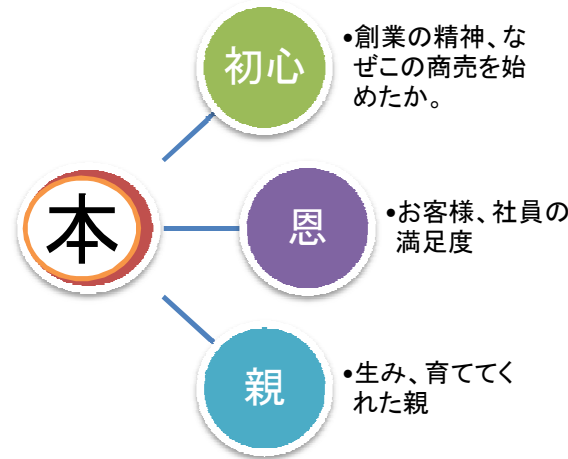
人には波長の合う・合わないがある。だが、皆が好むのは、明るい波長だ。例えば、返事。「ハイハイ」と繰り返すのはダメだ。気持ちを込めて1度言う。純粋な声でハイと受け止められる人が、教わって伸びる人だ。

また、暗さを知り尽くした人ほど、明るくなれる。辛い嫌な経験の捉え方で、波長が変わる。やられたから恨む・やり返すのではなく、伝えるべきもの

を、きちっと伝えていけばいい。波長は、その人が今まで培ってきた総合力、人間力だ。波長を高められるよう、努力したい。

### なかなか続かないのはなぜか?

開店の日のいきごみと、友人のよせられた厚意を忘れるから、少しの困難にも、気をくじかせる。終始一貫ということは、成功の秘訣であるが、これが出来ないのは皆本を忘れるからである。(栞 反始慎終 P90)



【初心】大阪に1400年続いている会社があるが、能力が高くても、創業の精神がわからない人には、決して会社を継がせないという。

【恩】お客様だけでなく、社員が誇りを持って働いてもらっているか。会社の評判は、社員の満足度(社員の言動)による所が大きい。

「頑張ってるね」は、言われた時の心の状態によっては、重荷になる。「頑張ってるね」なら、気持ちが落ちていても嬉しい。

【親】3つの本のうち、続けるエネルギーとして最も大きいのが、親に対してどう感じているか、親の捉え方だ。水に流せない、許せない、と傷を引きずっている人がいたら、最初は嘘でもいいから、長年のお詫びをしてみたい。

「嘘から真が飛び出す」。最初は心からのお詫びでなくても、だんだん真になる。周りの状況が必ず変わる。「世の中マイナスのこともあるが、元気に、前向きに捉えて、足もとの実践を着実に積み重ねていってほしい」。

## 次回 第886回MS! 7/22(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ	「官と民が協力してできること」	講師	千葉県知事 堂本 暁子 氏
-----	-----------------	----	---------------

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく